

令和8年第3回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和8年6月11日（木） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 2番 工藤文明君
- (2) 7番 木村則彦君
- (3) 3番 菅原明雅君
- (4) 4番 鹿兒島 巖君
- (5) 6番 本田佳子君
- (6) 8番 秋元英俊君

令和8年6月10日招集
第3回小坂町議会（定例会）

発 言 通 告 書

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	2	工藤文明	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 消防団応援自動販売機の増設</p> <p>2. 町有施設に命名権の設定を</p> <p>3. 男女共同参画の取り組み状況</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>町の消防団員数の減少が続いています。懸念される状況を打開するために、様々な施策が必要とされます。</p> <p>消防団応援自動販売機は、その名のとおり消防団員募集や応援メッセージなどがラッピングされた自動販売機を設置することによって、消防団活動のPRにつながり、団員募集の促進に役立ち、地域住民の防災意識向上に寄与することが期待できます。</p> <p>現在、町に設置されております消防団応援自動販売機は2台ですが、これを積極的に増設されることを提案します。応援自動販売機は、低コストで導入できる消防団活性化策として有効ですので、お考えを伺います。</p> <p>公共施設の名称に企業名などを付することができる命名権の導入は、県内でも県有施設をはじめとして一部自治体で採用されておりますが、町有施設ではまだ採用されておられません。</p> <p>小坂町でも公共施設の老朽化が目立ってまいりました。「小坂町公共施設等総合管理計画」では、将来にわたって適正な公共施設の維持管理をおこなっていくことが示されておりますが、その更新費用に関しては重い財政負担が及びます。</p> <p>命名権の導入は、金額として大きいものではありませんが、財源確保の観点からも検討する価値があります。導入についてのお考えを伺います。</p> <p>町は「第3次小坂町男女共同参画推進計画」に基づき、男女共同参画に取り組んでおられますが、町の政策・方針の決定過程を受け持つ審議会などへの女性委員の登用割合が、目標の40パーセントに到達していません。この女性委員の登用割合は、第6次小坂町総合計画でも公表されており、2020年の現状値は16.9パーセント、2024年の現状値は18.1パーセントです。目標に届いていない現状についてお考えを伺います。</p> <p>また、男女共同参画による町の施策の実行は、人口減少社会においてこれまで以上に重要となってきます。今後の取り組みにおけるお考えがございましたらお答えください。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	7	木村則彦	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>3. 自治体による終活支援について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>単身の高齢者が増加する中、これまで家族や親族が担ってきた高齢者の支援が課題となっています。推計では2050年には高齢者の9人に1人が頼れる親族がいない状況になるということです。</p> <p>そのため政府では、身寄りのない高齢者に対して、日常生活や入退院時、葬儀の手続をサポートする公的な制度の支援強化を盛り込んだ社会福祉法などが改正されると聞いております。</p> <p>そこで、現状において頼れる親族がいない高齢者への支援について、町の状況を伺います。</p> <p>(1) 町内在住の身寄りのない高齢者の数や状況は把握しているものか。</p> <p>(2) 現段階で、町として終活支援に係る制度としては、どのような支援内容となっているのか。</p> <p>(3) 今後、社会福祉法が改正されるにあたって、町として頼れる親族がいない高齢者への支援をどのように考えているのか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	3	菅原明雅	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 近隣市町村との広域連携について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 人口減少社会においては、広域連携によってスケールメリット（事業規模を拡大することで、コストを削減し効率性を高めるメリット）を推進する必要があると考えるが、町長のお考えを伺いたい。</p> <p>2. 具体的に以下の3点について、今後の広域連携の在り方・方向性について、町のお考えをお示し願いたい。</p> <p>(1) 地域医療について</p> <p>(2) 観光振興について</p> <p>(3) 技能実習生の確保について</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	4	鹿兒島 巖	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. クマ対策について</p> <p>2. 学校行事等での児童、生徒の送迎等に対する安全対策にかかわって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>昨年は全国的にかつてない規模での熊の人里への出没があり、特に東北地方、秋田県そして小坂町でも、町民の暮らしに不安や危険を及ぼした。</p> <p>さらに今年に入っては、雪解けを待たず熊の出没があり、4月5月とその出没と被害の多さが伝えられている。</p> <p>昨年はクマ対策に一定の補強策をしたところであるが、さらに対策の具体的な強化が必要と考えるがどうか。</p> <p>(1) 県はガバメントハンターを採用、振興局などに配置したが、まちとの連携などはどのように行うのか。</p> <p>(2) 棲み分けが、熊との遭遇・接触を避ける有効な対策と言われているが、民家と山林等の間を一定距離刈り払うなどが有効と聞く。こういった作業への費用補助が必要と考えるがどうか。また、こういった費用について、森林環境整備基金の活用が良いのではないかと提案したが、その後検討されたか。</p> <p>(3) 棲み分け、農作物への被害防止策で、電気柵への支援策に加えて、熊ソニックなどの設置への支援策を提案したい。</p> <p>新潟県の高等学校での部活動に関わる生徒の送迎に関わって、従来の慣習的なやり方に問題があったことが伝わっているが、これは単に一学校の問題ではなく、多くの学校現場で行われてきたことと認識している。</p> <p>小坂町での部活動では、どのように行われてきたか。見直す必要は無いか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
5	6	本田佳子	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 町の空き家対策について</p> <p>2. 今年の大雪被害を受けた屋根修繕について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 空き家解体についての相談件数は年間どれくらいあるか。また、空き家の苦情相談は年間どれくらいあるか。</p> <p>2. 空き家バンクの現状はどのようになっているか。</p> <p>3. 空き家が増えている要因、原因はどこにあると考えているか。</p> <p>今年の大雪により、屋根が損壊し、穴が開く、軒が壊れる、雨漏りがするなど、深刻な被害を被ったとの相談を受けたお宅が、複数あった。</p> <p>特に高齢者だけや、一人暮らしのお宅では、雪の季節を迎える前までに、対処しなければ安心して冬を乗り越えられない状況で、今の時期から早期の修繕が必要と考える。町として、少しでも手助けできる支援等はないのか、お伺いする。</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
6	8	秋 元 英 俊	一 般 質 問	町長・教育委員会の教育長
(発言の要旨)		<p data-bbox="603 398 794 434">(発言の内容)</p> <p data-bbox="603 450 1414 819">3. 一昨年、昨年と国道454号線の道路状況について整備をお願いしてきたところですが、国、県の管轄ということで、要望はする旨は伺っていますが、5月27日に鹿角振興局との意見交換の場所において、十和田湖和井内から大川岱のカーブ解消について、2か所の改良に取り組むとしています。そこで伺います。その場で、道路状況の改良の話題及び小坂町として嘆願をしたかを伺います。</p>		